

軍拡反対！ 学習シリーズ

防衛費増がもたらす 生活と医療への危機

本部 社会活動部 中尾 忍

2022年12月に安保3文書の改定が閣議決定され、今年6月16日には「軍拡財源確保法（我が国の防衛力の抜本的な強化等のために必要な財源の確保に関する特別措置法）案」が参議院本会議で可決されました。

国民だけでなく 医療機関にも負担

これにより、安保3文書の一つ「防衛力整備計画」に定められる防衛力の目標水準を達成するために、軍事費を今後5年間で約43兆円増やし、本格的に武器や軍事施設が整備されることになり、軍事費の増額分のうち返納も含まれています。

原水爆禁止2023年世界大会

代表4名が長崎を訪問します



長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典のようす

広島と長崎へ原爆が投下され、一瞬のうちに都市が壊滅し多くの命が奪われてから78年になり、ロシアは核兵器使用の威嚇を繰り返す。戦術配備も決定しました。アジアでの緊張が高まる中、核兵器禁止・廃絶の運動がますます重要なものとなっています。

原水爆禁止世界大会には、平和を求める世界中の人々が集まり、核兵器廃絶の声を世界に発信します。今年、尾張健友会から長崎の原水爆禁止世界大会へ職員代表を派遣します。

核のない世界をめざして平和の声を上げましょう。

■ 壮行会

8月2日13時

千秋病院整形外科外来前待合

■ 報告会

8月23日17時15分

千秋病院リハビリセンター前

※フクシマ視察（友の会ニュース6月号2面掲載）の報告会も同時開催します。

推進機構の積立金は、老朽施設の修繕や医療労働者の処遇改善など、いのちを守る医療提供体制の強化にこそ使われるべきです。

多くのいのちが 失われかねない

防衛費の増額と合わせ、敵基地攻撃能力（反撃能力）の配備が行なわれていきます。

今年3月には石垣島に陸上自衛隊の駐屯地が新設され、航空自衛隊が運用するミサイルの配備が進められています。

また、鹿児島県西之表市の馬毛島では、島全体が要塞のように自衛隊基地として開発が進められています。

現在、日本に配備されているミサイル防衛網では、他国からの攻撃が防ぎきれないことも想定され、自衛隊司令部の地下化が防衛相により計画されています。

一方で、国民の避難計画の作成は、各地方自治体に委ねられています。2013年に成立した「特定秘密保護法」により、手の内は明かさないと理由で防衛に関する情報が自治体にも公表されない中で、各自治体は計画の作りようがない状態になっていきます。これは、避難計画は作成できるはずがありません。

過去の戦争の反省からつくられた日本国憲法、特に第9条は、国民のいのちを守り、国民の自由が奪われることのないようにつくられた条文です。いま、この精神に反した動きが加速しています。私たちが一人ひとりが、日本が戦場になったときを自分事としてのイメージを膨らませ、当たり前にある自由が壊されないように声を上げることが必要です。

健友福祉会だより

ホームページ: http://www.chicki.com/fukushi

誕生日のお祝いは寄り添って

岩倉小規模多機能ホーム ちあき

7月の誕生日に向けてお祝いを企画するた「何がいいですか？」とAさんに尋ねたのは4月中旬。「藤の花が見たい！ 団子が食べたい！」との返事。願いを叶えるため、江南市の曼荼羅寺の藤まつりにAさん夫婦をお連れしました。



まずはお寺の本堂で手を合わせてお参り。道順通り進むと藤棚が咲き誇っていました。お花見を満喫し、藤の花を見ながら焼き立ての田楽を食べ、屋台でみたらし団子を買って夫婦仲良く召し上がっていました。ご本人も「楽しかったです。また行きたいなあ」と喜んでいました。

誕生日から2か月前倒しの企画となりましたが、Aさんの希望に寄り添うことで喜んでもらい、私たち職員もうれしく思います。また来年も、再来年も夫婦そろってお花見に行きましょう!!

栗本 智子

ボランティア紹介

送迎ボランティアを始めたきっかけ

宇佐見 彰朗



ボランティア団体で活動していた時に、「ねこの手ネット」を紹介されました。

送迎を必要とする患者さん・利用者さんが増えていくと、月、大きな事故やトラブルも起こさず何とか無事にやってきました。利用者さんに迷惑をかけないよう気持ちよく利用してもらえよう、気を配っています。家にこもってテレビやパソコンのお相手だけでは、ボケが早く来ると思っています。自分のためにも、

ねこの手ネット

外出支援 ボランティア 募集中

詳しくは藤嶋まで 05866(8)1090



憲法かるた 岩倉支部 山本卓二さんの作品